

特別展

井上康文

ある民衆詩人の足跡



2014

3.24月-5.25日

小田原文学館

特別展 井上康文

ある民衆詩人の足跡

小田原出身の詩人・井上康文（本名・康治）
をご存じでしょうか。

明治三〇年（一八九七）に小田原町幸一丁目（現・小田原市本町）で生まれた井上は、東京薬学校（現・東京薬科大学）を卒業後、大正七年（一九一八）に同じく小田原出身の詩人・福田正夫らと雑誌『民衆』を創刊しました。

普通の人々の暮らしを詩の題材にした彼らは民衆詩派として注目され、井上は大正時代における最大の詩人団体「詩話会」に加わりました。また、自ら結社を立ち上げ、尾崎喜八や恩地孝四郎など後進の育成にも携わりました。

その後井上は、昭和一七年（一九四二）に海軍報道班員として南方に渡るなど、戦時中も精力的に活動しました。戦後はNHKラジオで作品が朗読されたり、産経新聞に競馬関係の記事を執筆するなど、幅広い分野で活躍しました。

本展では、平成二五年（二〇一三）に没後四〇年を迎えた井上の生涯や作品を、残された直筆原稿や書簡・写真などから紹介します。

【関連行事】

◎第六回小田原文学館西海子サロン

開催日：三月二十九日（土）

開催内容：講演（岸達志氏）、文学散歩

併当：和菓子販売、琴の演奏

会場：小田原文学館

（文学散歩のみ市内各所）

費用：無料

申込・問合せ：小田原市立図書館

〇四六五―二四―一〇五五

◎学芸員による展示解説

開催日：三月二十九日（土）・三〇日（日）

四月六日（日）・五月四日（祝）

開催時間：午後三時～三〇分程度

会場：小田原文学館本館 一階展示室

費用：無料（入館料のみ必要）

申込：不要

（※当日直接会場までお越しください）



井上康文（左から三人目、昭和一七年）
（海軍報道班員として訪れたラバウルで）



入館料 大人二五〇円、小中学生一〇〇円
（団体割引有）

※三月二十九日（土）は入館無料

開館 午前九時～午後五時

（入館は午後四時三〇分まで）

休館日 会期中無休

（三月二一～二三日及び五月二六・二七日は展示替のため一部施設を閉鎖。進捗状況により閉鎖日は変更することがあります）

アクセス 小田原駅東口から箱根方面行バス「箱根口」下車徒歩約一〇分

主催 小田原市立図書館

小田原文学館

神奈川県小田原市南町2-3-4
電話 0465-22-9881